

学校通信

令和3年3月24日 No.40

あかさき

佐世保市立赤崎小学校

文責 校長 鶴田 和久

令和2年度が終わります。1年間、ありがとうございました

つい、先週の木曜日、57名の卒業式を終えたところですが、今日、3月24日(水)は、いよいよ令和2年度学校での最終日、修了式の日となりました。以下、修了式において、子どもたちへ話を行った概略をお伝えします。

今日は修了式の日です。

修了式とは、何でしょうか。

すべての勉強をやり遂げたことを修了と言います。

ですから、修了式とは、ただの終わりではなく、大事な学習を一所懸命、身に付けましたという意味が込められています。

つまり、修了証とは、その学年の勉強をすべて終えることができたことを証明するものなので、みなさんは、今日で一年間のすべての学習を終えたことになります。

では、この一年間のがんばりをふり返ってみましょう。

今日渡される「あゆみ」の中には、こう書かれている人がいました。

(中略)

赤崎小学校の皆さん、本当に、一年間、よくがんばりました。すばらしかったです。

このように、よくがんばったことは、次の新しい学年になっても続けていってください。

そして、もう少しがんばればよかったこと。このことについては、どうすればよいか、そのことを考え、工夫していくことが大切です。そうすることで、少しずつでも自分が変わり、変わったことが自信につながるからです。

明日から春休みです。春休みは、13日間の休みですが、この休みを利用して新しい学年に進む準備をしてほしいと思います。

1年生の皆さん。四月からは2年生の教室になります。1年生のお手本、お願いします。

2年生の皆さんは、2階の教室になります。英語の学習も始まりますよ。

3年生の皆さんは、クラブ活動が始まります。

4年生の皆さんは同じく委員会活動が始まります。宿泊体験学習もあります。

そして、5年生の皆さん、皆さんは、最高学年になります。赤崎小学校の子どもたちみんなのリーダーになります。四月からは早速一年生のお世話も始まります。修学旅行もありますね。

各学年とも、4月からこの他にもたくさん新しいことに挑戦します。

そこで、校長先生から、この春休みに取り組んでほしい宿題を4つ言います。

一つ目、今の学年の勉強を復習すること。「復習」です。

二つ目、新しい学年でがんばりたいめあてを考えておくこと。「めあて」です。

三つ目、規則正しい生活をする。「早寝、早起き、朝ごはん」です。

そして、最後。四つ目は、「自分の『いのち』は、自分で守る。」です。

この4つの宿題は、学校通信でおうちの方にもお願いします。おうちの方とよく相談して取り組んでほしいと思います。

「あたま、こころ、からだ。」新しい学年への準備をしっかりと、4月によいスタートができるようにしましょう。

それでは、4月6日にまた元気に会いましょう。一学年進級した皆さんに会うのを楽しみにしています。

このように、子どもたちと4つの約束をしています。どうか、ご家庭におかれましても、この点につきまして、子どもたちへの声かけ、励ましを行っていただきながら、令和3年度の学校生活がスムーズにスタートできますよう、見守りをお願いいたします。

また、今年度より赤崎小学校の校長として赴任しての一年間、温かな目で学校の活動を見守り、ご支援していただきましたこと、本当にありがたく思い、感謝しています。次年度におきましても、引き続き、赤崎小学校へのご支援、ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

離任式

本日、3月24日は、修了式の後、離任式も行われました。

一昨日、別紙にてお知らせし、新聞紙上においても掲載されていましたが、令和2年度の異動に伴い、赤崎小学校に於きましては、以下の職員が転、退職となりました。

【退職】

教諭	益田百合子
講師	永山千寿
講師	山本絵理香
特別支援教育補助指導員	前川律子

本校勤務年数・職種は、各々異なりますが、それぞれの職務を誠実に果たし、赤崎小学校の子どもたちのために、尽力してもらいました。改めてお知らせします。

式の始めに子どもたちへ伝えた詩を最後に掲載します。

【転出】

教諭	赤星秀典	佐世保市立春日小学校
教諭	大山里世	佐世保市立柚木小学校
教諭	山口直	壱岐市立渡良小学校
事務主任	岩田知久	佐世保市立皆瀬小学校
準調理士	井崎勝美	佐世保市立吉井南小学校



「一秒のことば」

作 小泉 吉宏

「はじめまして」

この一秒ほどの短い言葉に一生のときめきを感じることもある

「ありがとう」

この一秒ほどの言葉に人のやさしさを知ることがある

「がんばって」

この一秒ほどの言葉で勇気がよみがえってくることもある

「おめでとう」

この一秒ほどの言葉で幸せにあふれることがある

「ごめんなさい」

この一秒ほどの短い言葉に人の弱さをみることがある

「さようなら」

この一秒ほどの短い言葉が一生の別れになるときがある

一秒に喜び、一秒に泣く。 一生懸命、一秒。